

【泉区】平成 28 年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	28 年 9 月 8 日 (木) 午後 2 時 00 分 ~ 午後 3 時 12 分
場 所	泉区総合庁舎 4 階 4 A B 会議室
出席者	【座 長】梶村 充 議員 【議 員：3 人】源波 正保 議員、麓 理恵 議員 横山 勇太朗 議員 【泉 区：35 人】下村 直 区長、荒川 義則 副区長、 堀川 尚実 福祉保健センター長、 松浦 淳 福祉保健センター担当部長 鈴木 智之 土木事務所長 有賀 太重 泉消防署長 ほか関係職員
議 題	1 平成 27 年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について 2 平成 28 年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について 3 平成 29 年度泉区予算編成の考え方について 4 その他 (1) 横浜市いずみ野地域ケアプラザ等について (2) 泉区和泉町第五次地区の住居表示について

1 平成 27 年度泉区個性ある区づくり推進費事業実績について

麓議員：こんにちは赤ちゃん訪問事業について、民生委員さんのお力を借りて訪問しているとのことだが、毎年泉区ではどのくらいの訪問件数で、全体の中でどのくらいの訪問割合になっているのか。また、27 年度の実績はどうだったのか。

丹野こども家庭支援課長：27 年度は訪問件数が 1,150 件、割合については 27 年中の出生数を母数として考えると、96%になる。

麓議員：かなり高い訪問率であると考え。訪問のときに課題が見つかったり、区役所全体的な支援をしていかなければならなくなった場合の、その後の対応を教えてください。また、それらの件数は 27 年度どのくらいあったのか。加えて、わずかながらではあるが訪問しきれなかった方々についてはどのようにカバーしているのか。

丹野こども家庭支援課長：訪問員から引き継がれた件数としてはささいな相談も含め 119 件。その方々には区の専門職が個別に電話をしたり、助産師・保健師による母子訪問等で個別に対応している。訪問しきれなかった 4%の方々については、4 か月健診や母子訪問を受けているか等、4 か月健診前後の状況を確認している。

発言の
要旨

麓議員：119 件の中には少しのお話で解決する問題もあると思うが、児童虐待や貧困状況の家庭など、現在の子どもを取り巻く環境は厳しいものがあると思うので、高い訪問率を更に上げながら連携を取った活動で、なるべく子どもが小さいうちにいろいろなことが解決できるようお願いしたい。

横山議員：災害対策について、更新を向かえた備蓄物資を泉区ではどうしているのか。

金子担当部長：備蓄物資については市の危機管理室が 18 区の備蓄倉庫に入れている。期限の切れるものは交換の必要があるため、従前は危機管理室が業者に委託し処分をし、新しいものを入れかえていた。しかし、現在は有効活用の考えから、泉区では賞味期限を迎えるものについては、期限の少し前段階で各拠点の運営委員長に連絡し、各拠点の訓練などを通じて活用できるようであれば使っていただくよう連絡している。使っていただければ処分をしなくて済むが、各拠点で使い切れないということであれば回収し処分している。

横山議員：備蓄物資の確認は誰が行っているのか。

金子担当部長：備蓄物資の現状確認については、1回は拠点の運営委員の皆様にお願ひし、食品だけではなく資機材も含めて備蓄物資の点検を行っていただいている。もう1回は、区で業者に委託し、専門的な立場で点検をお願いしている。

横山議員：棚卸などの時に数が合わないことはあったか。

金子担当部長：数が合わないということについて直接把握はしていないが、拠点や委託業者には在庫数をあたってもらうことにしており、食品については期限を十分に確認していただくようお願いをしている。その中で数が合わないなど対応が必要な場合は、適宜対応していくこととしている。

横山議員：わんわんパトロールとは何か。

遠藤地域振興課長：区民の皆様が愛犬と散歩をする際、リードに「わんわんパトロール中」と表記された帯を付けていただき、日常から防犯に対する認識がある町だということを見せるために行っている。狂犬病予防注射のときや、ふれあいまつりのときに呼びかけをさせていただき、パトロール隊員になっていただいている。パトロール隊員には愛犬の名前を表記した隊員証をお渡ししている。

横山議員：生活困窮者自立支援事業について、予算額と決算額に開きがあるが、予算組みの段階では想定が難しかったのか。

佐川生活支援課長：平成27年度は生活困窮者自立支援事業の初年度ということもあり、多様な相談に対応できるよう健康福祉局の方で余裕をもった予算編成をしていた。それに対して平成27年度泉区の住居確保給付金の支出は従前の実績を上回っていたものの、予算額の見込みよりも少なかったため決算額との開きが生じた。

横山議員：橋名板が盗まれた事件があったがその後どうなったのか。

飯島土木事務所副所長：泉区内では4つの橋で9枚の橋名板が盗まれ、横浜市全体としてそれぞれ警察に被害届を出した。その後については、橋名板等を盗んだ容疑者が逮捕されたが、その方が今回の場所のものを盗んだかは分かっていない。結果として、被害届を出した後に犯人が検挙されたことには繋がっている。今後の対策としては、ねじで締めている橋名板が盗まれていたことを踏まえ、ねじ山をつぶしたり、ねじを回せ

ないよう溶接を行った。

横山議員：平成 27 年度中に一般の市民の方が A E D を使用した実績はあるか。

有賀消防署長：駅舎やスポーツセンターなどで、緊急対応として A E D が使用されたという情報は消防局で把握しているが、使用の件数については把握していない。

2 平成 28 年度泉区個性ある区づくり推進費執行状況について

梶村議員：横浜マイスターが泉区で 2 人誕生したことにより 4 人になったので、何か子どもたちに教えられるようなことをしてほしい。

3 平成 29 年度泉区予算編成の考え方について

麓議員：緑園地区小中一貫校の今後については、現在、常任委員会でも教育委員会から話を聞いているが、泉区としてはどのように関わっていくのか。

下村区長：教育委員会では 34 年度開設という目標を掲げ進めているところだが、小中一貫校をリードする学校が泉区の緑園に計画されるということなので、区役所としても今後の緑園地区やいずみ野線沿線のまちづくりを考えるうえでも重要なことだと考えている。また、ここまでの道のりを振り返ると、教育委員会が緑園地区小中一貫校の設置計画に動いたのは地元の熱意が大きいと感じており、教育委員会事務局と既存の学校、保護者にとどまらず、地域と区役所を含めた情報の共有や計画の調整がきわめて重要と感じているため、教育委員会事務局と一緒に調整を進めていきたいと考えている。

麓議員：西部地区に小中一貫校ができることで、新しい義務教育の在り方を考えていけることもあり、楽しみにしている。また、今いる子どもたちがどのように卒業し、どのように新しい子どもたちを迎えていくのかを含めて教育委員会で議論しているということなので、それを待ちたいと思う。一方、旧いちょう小学校について、現在地域コミュニティがスポーツなどで活用させてもらっているが、この場所がどのような性格をもった場所なのかを地域の皆様に見通しをもってもらうことが必要だと考えている。このことに対して区としてどう考えているのか。

大蔭区政推進課長：旧いちょう小学校については、現在、地域の方々に暫

定的に地域活動で活用していただいている。今後の本格活用の際には、敷地内に残る道路敷や水路敷の処理なども必要になってくる。そういった状況を踏まえつつ、現在の活用を継続しながら地域との調整を行っていききたい。

麓議員：いちよう団地を抱えているところで多くの方がお住まいなので、防災の観点からの利用もあるだろう。また、外国籍や外国に繋がる方も多いので、横浜吉田中学校の近くに今度できる予定のプレスクールのように、こちらにもその西部校としてできると良いのではと考えている。

梶村議員：関連して緑園西小学校をこれからどう活用するか、それも区役所として十分考えなければならないと考える。せっきくの施設なので使えるものは使っていきたい。同様の例として、日向山では県の特別支援学校になったが、非常に使いにくくなった。地元も困っている。県の方にももう少し使いやすい管理をしてほしいと思っている。せっきくの施設なのでしっかり関与してほしい。

源波議員：領家地区の地域ケアプラザの建設地は決まったのか。

大蔭区政推進課長：領家の地域ケアプラザの建設場所については既に決まっている。

麓議員：市会定例会でいわゆるごみ屋敷条例を作っていくことになっているが、泉区内でも1件該当すると思われる所があったが、火災で亡くなられた方もいた。その他にも該当するのではと思われる所を見かけるが、区内ではそれに該当する場所や件数を把握しているのか。また、空き家についても問題になっているが、泉区の空き家の状況についても教えてほしい。

土井福祉保健課長：いわゆるごみ屋敷について現在泉区で把握している件数は1件。その他に1件お問い合わせがあり、『いわゆる「ごみ屋敷」に関する泉区対策連絡会議』において、判定基準に基づき判定したところ、該当しないと判定した。

大蔭区政推進課長：空き家について平成27年度は11件のご相談をいただいている。また、28年度は7月末までで4件のご相談をいただいている。

麓議員：相談を受けているということだが、区内に空き家として存在する件数と考えて良いのか。

	<p>大蔭区政推進課長：空き家として存在しているかどうかの件数調査は区としては行っていない。近隣の方からの通報やご相談をいただき調査に伺っている状況。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 横浜市いずみ野地域ケアプラザ等について (質疑なし)</p> <p>(2) 泉区和泉町第五次地区の住居表示について (質疑なし)</p>
備 考	